

亀岡市 地域福祉に関する アンケート調査



皆様におかれましては、日ごろから市政に対しご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

亀岡市では、これまで令和3年3月に策定した「第3期亀岡市地域福祉計画」に基づき、「認めあい、支えあい、助け合える ずっと住みたい笑顔のまちづくり」を基本理念に、取組を進めてきました。今年度は、計画策定から2年が経ち、計画の中間見直しを行うこととしています。

そこで、地域において直接住民と関わる活動をされている皆様のお考えやご意見を計画策定に活かしたいと考えており、自治会役員及び民生委員・児童委員の皆様を対象として下記のとおりアンケート調査を実施いたします。お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果は、統計的に処理するもので、この調査の目的以外に使用することはありません。また、秘密の保持には万全を尽くしますのでご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年7月

亀岡市長 桂川 孝裕

◆ご回答の前にお読みください。

1. 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「○はいくつでも」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見を直接ご記入いただく質問もあります。
2. 質問の回答が「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
3. 回答は、あて名の方がご記入ください。
4. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**8月11日(金)までにポスト**にご投函ください。なお、調査票や封筒にお名前を書く必要はありません。

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

亀岡市 健康福祉部 地域福祉課

◆電話：0771-25-5029

◆FAX：0771-24-3070

◆あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたのお住まいは、どの地区にありますか。(○は1つだけ)

- 1 亀岡地区
- 2 南部地区 (東別院町・西別院町・曾我部町)
- 3 西部地区 (本梅町・畑野町・宮前町・東本梅町)
- 4 中部地区 (吉川町・蕨田野町・大井町・千代川町)
- 5 川東地区 (馬路町・旭町・千歳町・河原林町・保津町)
- 6 篠地区
- 7 つつじヶ丘地区 (東つつじヶ丘・西つつじヶ丘・南つつじヶ丘)

問2 現在、お住まいの地区の居住年数を教えてください。(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1 0～3年未満 | 2 3～5年未満 | 3 5～10年未満 |
| 4 10～20年未満 | 5 20～30年未満 | 6 30年以上 |

問3 あなたが担っている地域の役割は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------|-------------|
| 1 自治会役員 | 2 民生委員・児童委員 |
|---------|-------------|

問4 活動に関わっている理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 地域に貢献したい | 2 自分の生きがいや健康づくりのため |
| 3 自分の経験を活かしたい | 4 自分の教養のため |
| 5 行政や地域の役員に依頼されたため | 6 割り当てや順番で決まっているため |
| 7 その他 () | |

問5 現在の活動についてどのように感じていますか。(それぞれ○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|--------|
| ①やりがい・使命感 | 1 強く感じる | 2 感じる |
| | 3 あまり感じない | 4 感じない |
| ②負担感 | 1 強く感じる | 2 感じる |
| | 3 あまり感じない | 4 感じない |

◆地域についておたずねします

問6 あなたがお住まいの地域では、地域のつながりが強いですか。(○は1つだけ)

- 1 困ったときに助けあえるような付き合いがあり、つながりは強い
- 2 日常的な付き合いがあり、つながりはまあまあ強い
- 3 挨拶をする程度で日常的な付き合いはなく、つながりはあまり強くない
- 4 近所との付き合いがなく、つながりは弱い

問7 あなたがお住まいの地域の中で、課題に感じることは何ですか。(○は5つまで)

- 1 地域のことに関心のない人が多い
- 2 身近に相談できる人や場所がない
- 3 近所の人との付き合いがない
- 4 世代間で交流できる機会がない
- 5 地域の行事に参加する人が少ない
- 6 地域の役員などのなり手がいない
- 7 地域から孤立している人がいる
- 8 災害発生時の避難に不安を感じる
- 9 地域の中で気軽に集まれる場所や機会がない
- 10 地域住民同士の助け合いが少ない
- 11 交通手段がなく、買い物や病院に行くときに不便を感じる
- 12 誰にも相談せず、支援を受けていない人がいる
- 13 その他 ()

問8 あなたがお住まいの地域の中では、どのような集いの場や居場所、交流の場等がありますか。(○はいくつでも)

- 1 高齢者が集える場
- 2 障がいのある人が集える場
- 3 若者が集える場
- 4 子ども・子育て世代が集える場
- 5 多世代交流ができる集いの場
- 6 暮らしのちょっとしたことを相談できる集いの場
- 7 集いの場はない
- 8 わからない
- 9 その他 ()

◆福祉についておたずねします

問9 あなたがお住まいの地域は、高齢者や障がいのある人、子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 2 どちらかといえば住みにくい |
| 3 どちらかといえば住みやすい | 4 住みにくい |

問9-2へ

問9で「1 住みやすい」「3 どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみ

問9-1 あなたが住みやすいと思う理由は何ですか。(○は5つまで)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 地域住民の助けあいがある | 2 交通の便が良い |
| 3 気軽に集える場所がある | 4 歩道が整備され移動しやすい |
| 5 働く場所が近くにある | 6 医療機関が近くにある |
| 7 治安が良い | 8 親子で集える場所が近くにある |
| 9 買い物ができる場所が近くにある | 10 災害時に手助けしてくれる人がいる |
| 11 身近に生活の悩みを相談できる窓口がある | |
| 12 日常生活に必要なサービスを利用しやすい | |
| 13 その他() | |

問9で「2 どちらかといえば住みにくい」「4 住みにくい」と答えた方のみ

問9-2 あなたが住みにくいと思う理由は何ですか。(○は5つまで)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 地域住民の助けあいが少ない | 2 交通の便が悪い・利用しにくい |
| 3 気軽に集える場所が少ない | 4 歩道などがなく移動することが困難 |
| 5 働く場所が近くにない | 6 医療機関が近くにない |
| 7 治安が悪い | 8 親子で集える場所が少ない |
| 9 買い物ができる場所が近くにない | 10 災害時に手助けしてくれる人がいない |
| 11 身近に生活の悩みを相談できる窓口がない | |
| 12 日常生活に必要なサービスを利用しにくい | |
| 13 その他() | |

問10 地域で安心して暮らし続けるために、日ごろの生活の中で生じる困りごとなどを解消する取り組みが必要だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 必要だと思う | 2 どちらかといえば必要だと思う |
| 3 あまり必要ではない | 4 必要ではない |

問11 亀岡市の福祉に関する相談窓口や福祉サービスなどの情報は住民に周知できていると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 できている | 2 あまりできていない |
| 3 ほとんどできていない | 4 わからない |

問12 亀岡市の福祉行政に対して、住民からどのような要望等を聞かれますか。具体的に記入してください。

◆活動についておたずねします

問13 現在、お住まいの地域の中で、次のような見守りや支援が必要な人や気がかりな人がいますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1 一人暮らしの高齢者 | 2 高齢者のみの世帯 |
| 3 障がいのある人 | 4 認知症の人 |
| 5 ひとり親家庭 | 6 子どもや子育て中の家庭 |
| 7 不登校やひきこもり状態の人 | 8 病気療養中の人 |
| 9 高齢者や障がいのある人などを介護している人 | |
| 10 ヤングケアラー(※ ₁) | |
| 11 生活に困窮している人 | |
| 12 地域から孤立している人 | |
| 13 外国人住民 | |
| 14 特にない | |
| 15 その他 () | |

※₁ ヤングケアラー → 家族にケアを必要とする人がいる場合に、本来大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを日常的に行っている18歳未満の子どものこと

問14 問13のような困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|----------------|
| 1 地域の見守り活動などから | 2 本人や家族の相談から |
| 3 近所の人の相談から | 4 地域の団体の役員などから |
| 5 こども園・保育所・幼稚園・学校から | 6 福祉施設や専門機関から |
| 7 市役所の福祉関係課から | |
| 8 地域包括支援センターや亀岡市生活相談支援センター(※ ₂)から | |
| 9 特にない | |
| 10 その他 () | |

※₂ 亀岡市生活相談支援センター → 「収入がなく、生活できない」など、生活保護に至るまでの生活困窮者が相談できる窓口

問15 あなたは、お住まいの地域でどのような支えあいや助けあいの活動をしていますか。(○はいくつでも)

- 1 一人暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象とする見守りや相談
- 2 障がいのある人への見守りや相談
- 3 子どもや子育て中の世帯への見守りや相談
- 4 孤立している人やひきこもり状態の人の見守りや相談
- 5 高齢者サロンなど高齢者の居場所や交流の場所づくり
- 6 子どもの居場所や子育て中の家族の交流の場所づくり
- 7 障がいのある人が気軽に集うことができる居場所づくり
- 8 買い物や通院などの外出支援
- 9 ご近所で生活に困っている人の手助け
- 10 子どもの登下校の見守りや防犯パトロールの実施
- 11 災害に備えた地域の防災訓練の実施
- 12 災害時一人で避難できない人などへの声掛けや安否確認
- 13 地域の清掃活動や環境美化活動の実施
- 14 住民同士のつながりを深める交流会やイベントの開催
- 15 その他 ()

問16 地域の支えあいや助けあいの活動をする上での課題はありますか。(○は5つまで)

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1 活動の担い手が高齢化している | 2 活動の中心となる指導者がいない |
| 3 活動を担う人が同じで、負担が大きい | 4 男女の偏りがある |
| 5 活動がマンネリ化している | 6 活動に関して相談できるところがない |
| 7 活動するための資金が不足している | 8 行事等に新たに参加する人が少ない |
| 9 活動できる場所の確保が難しい | |
| 10 住民のニーズの把握が難しい | |
| 11 活動にあたってのノウハウや知識が不足している | |
| 12 他の団体や関係機関と交流したり連携したりする機会が少ない | |
| 13 その他 () | |

問17 地域の住民は、地域での支えあいや助けあいの活動に関心があると思いますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても関心がある | 2 ある程度関心がある |
| 3 あまり関心がない | 4 全く関心がない |

問17で「3 あまり関心がない」「4 全く関心がない」と答えた方のみ

問17-1 「関心がない」と思う理由は何ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 仕事があり活動をする時間がない | 2 住民同士の関わりが薄い |
| 3 負担が増えることへの不安が大きい | 4 どのような活動があるか知らない |
| 5 その他 () | |

問18 地域の支えあいや助けあいの活動を推進するために必要なことは何があると思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 地域の福祉活動への理解促進 | 2 住民が活動に参加するきっかけづくり |
| 3 活動の担い手となる人材育成 | 4 活動について相談できる機会の充実 |
| 5 専門機関や専門職等との関係づくり | 6 活動費などの経済的な支援 |
| 7 支援が必要な人の把握 | 8 活動の拠点となる場所の充実 |
| 9 その他 () | |

問19 地域活動の中で、他の組織・団体との連携はありますか。(○は1つだけ)

1 連携がある

2 連携はない ⇒問20へ

問19で「1 連携がある」と答えた方のみ

問19-1 連携がある組織・団体は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 ボランティア、NPO、福祉活動団体(※3) | 2 老人クラブ |
| 3 子ども会 | 4 自主防災組織(※4) |
| 5 福祉施設・福祉サービス事業所 | 6 医療機関 |
| 7 地域包括支援センター | 8 子育て支援センター |
| 9 こども園・保育所・幼稚園・学校 | 10 亀岡市社会福祉協議会 |
| 11 亀岡市 | 12 民生委員・児童委員 |
| 13 自治会 | 14 亀岡市生活相談支援センター |
| 15 京都府 | 16 その他 () |

問20 地域活動の中で、今後連携したい他の組織・団体はありますか。(○は5つまで)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 ボランティア、NPO、福祉活動団体(※3) | 2 老人クラブ |
| 3 子ども会 | 4 自主防災組織(※4) |
| 5 福祉施設・福祉サービス事業所 | 6 医療機関 |
| 7 地域包括支援センター | 8 子育て支援センター |
| 9 こども園・保育所・幼稚園・学校 | 10 亀岡市社会福祉協議会 |
| 11 亀岡市 | 12 民生委員・児童委員 |
| 13 自治会 | 14 亀岡市生活相談支援センター |
| 15 京都府 | 16 その他 () |

問21 災害時の要支援者(※5)に対する支援として、あなたがお住まいの地域ではどのような取組が必要と考えますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 平常時からの避難訓練の実施 | 2 平常時からの定期的な見守り活動 |
| 3 災害時の声掛けや安否確認 | 4 災害時の支援者同士の連携や役割分担 |
| 5 避難行動要支援者名簿(※6)の活用 | 6 個別の避難計画(※7)の整備 |
| 7 その他() | |

※3 福祉活動団体 → 地域福祉の推進を図ることを目的とする民間の福祉団体
 ※4 自主防災組織 → 地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識に基づき、自主的に結成する防災組織
 ※5 災害時の要支援者 → 災害時に自力で避難することが困難で支援を必要とする人
 ※6 避難行動要支援者名簿 → 災害時の要支援者を支援するため一定の基準に基づいて行政に作成が義務付けられている名簿
 ※7 個別の避難計画 → 要支援者の状況に応じた適切な避難方法や避難場所を定めた計画

問22 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、地域の活動にどのような影響がありましたか。(○は3つまで)

- 1 地域のサロン活動ができなくなった
- 2 地域の運動会や祭り、敬老会等のイベントができなくなった
- 3 地域の見守りが十分にできなかった
- 4 地域の会議などができなくなった
- 5 困りごとの相談が増加した
- 6 地域の人と話をする機会が減った
- 7 情報共有や情報提供の機会が減った
- 8 特にない
- 9 その他()

問23 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、地域活動が再開されていると思いますが、再開にあたり工夫していることはありますか。(○は3つまで)

- 1 対面での活動を重視し、マスクの着用や手指の消毒等の感染対策を行い、安心して活動できる環境を作っている
- 2 対面だけでなく、リモート(※₈)での会議や活動なども取り入れている
- 3 SNS(※₉)や電話など対面によらない見守り活動を取り入れている
- 4 SNSによる情報提供などのICT(※₁₀)の活用を進め、会議の回数等の削減や会議時間の短縮を図っている
- 5 懇親会等の飲食を控えている
- 6 感染対策等は個人に任せており、特に工夫していない
- 7 活動を再開していない
- 8 その他()

問24 新型コロナウイルス感染症の5類への移行後、地域活動はコロナ前の状況に戻ってきていますか。(○は3つまで)

- 1 コロナ前の状況に戻ってきている
- 2 会議など小規模の活動は戻ったが、イベント等は戻っていない
- 3 活動の頻度が少なく小規模になった
- 4 参加者が減少している
- 5 地域の見守りなどの機会が減った
- 6 活動を再開していない
- 7 その他()

※₈ リモート → 離れた場所にいる人同士が通信回線等を通じてつながること

※₉ SNS → インターネット上のコミュニティサイト

※₁₀ ICT → 情報通信技術

問25 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経て、気づけたことは何ですか。(〇は1つ)

- 1 対面でのコミュニケーションの大切さ
- 2 祭りや運動会等のイベントの大切さ
- 3 感染症拡大や災害等への日常からの備えの大切さ
- 4 新しい行事や活動の工夫の必要性
- 5 リモートでのコミュニケーションの必要性
- 6 SNS等ICTを活用した情報発信の必要性
- 7 他の団体や関係機関との情報共有や連携の大切さ
- 8 その他()

◆今後の取組についておたずねします

問26 地域で安心して暮らしていくためには、今後どのような支えあいや助けあいの活動に力をいれていくべきだと思いますか。(〇は5つまで)

- 1 一人暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象とする見守りや相談
- 2 障がいのある人への見守りや相談
- 3 子どもや子育て中の世帯への見守りや相談
- 4 孤立している人やひきこもり状態の人の見守りや相談
- 5 高齢者サロンなど高齢者の居場所や交流の場所づくり
- 6 子どもの居場所や子育て中の家族の交流の場所づくり
- 7 障がいのある人が気軽に集うことができる居場所づくり
- 8 買い物や通院などの外出支援
- 9 ご近所で生活に困っている人の手助け
- 10 子どもの登下校の見守りや防犯パトロールの実施
- 11 災害に備えた地域の防災訓練の実施
- 12 災害時一人で避難できない人などへの声掛けや安否確認
- 13 地域の清掃活動や環境美化活動の実施
- 14 住民同士のつながりを深める交流会やイベントの開催
- 15 その他()

問27 亀岡市地域福祉計画について知っていますか。(〇は1つだけ)

- 1 内容を知っている
- 2 聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 知らない

問28 誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、亀岡市はどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(〇は5つまで)

- 1 地域の支えあいや助けあい活動の理解を促すための市民啓発活動
- 2 地域活動を支えるボランティアやNPOの育成や活動への支援
- 3 問題を抱えている人の相談をまとめて相談することができる身近な窓口の整備
- 4 課題を解決するための住民、行政、支援機関などの連携体制の構築
- 5 福祉サービスや制度に関する情報提供や広報の充実
- 6 認知症や障がいなどにより日常生活に困難がある人への生活支援体制の充実
- 7 災害時の避難支援体制の充実
- 8 福祉教育の充実や人権意識の醸成
- 9 生きがいづくりなど生涯学習の推進
- 10 公共施設等のバリアフリー化や合理的配慮の推進
- 11 その他 ()

問29 今後、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、住民と行政の関係はどうあるべきだと思いますか。(〇は1つだけ)

- 1 住民同士で助けあい、解決できない部分は行政が援助すべきだ
- 2 住民も行政も協力し合い、ともに連携しながら取り組むべきだ
- 3 行政が責任をもって行うべきだが、行政の手が届かない部分は住民が協力すべきだ
- 4 行政が責任をもって行い、住民はそれほどできることはない
- 5 どうすればよいかわからない
- 6 その他 ()

以下のテーマについて、何かご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

(1) みんなで助けあい・支えあう地域をつくるために、何かアイデアがあれば教えてください。
個人でできること、地域で取り組むべきことなど、何でも結構です。

(2) そのほか、何かご意見などがあれば教えてください。

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、切手は貼らずに**8月11日(金)まで**に郵便ポストにご投函ください。**なお、調査票や封筒にお名前を書く必要はありません。**